

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 01010010

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	医師・保健医療技術者修学資金貸付事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	1	総務課	
事業主体	雄武町		関係課	5	保健福祉課	
事業指標	修学資金貸付者数			14	国保病院	
事業目標	1人以上/年		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	有 雄武町医師及び保健医療技術職員養成修学資金貸付条例		
住民協働			関係個別計画名			

		全体計画	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	修学資金貸付 1人～3人/年		修学資金貸付	修学資金貸付	修学資金貸付	修学資金貸付	修学資金貸付
	事業費(千円)	8,160	2,880	2,000	400	1,920	960
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
事業費(千円)	8,160	2,880	2,000	400	1,920	960	
実績事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	4,880	2,880	2,000	0	0	0
事業費(千円)	4,880	2,880	2,000	0	0	0	
関連事項	特定財源の名称		(実施内容等) 修学資金貸付 3名	(実施内容等) 修学資金貸付 2名	(実施内容等) 修学資金貸付 2名	(実施内容等) 修学資金貸付 1名	(実施内容等) 修学資金貸付 1名
	【評価・実績】						
			※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2人	1人	1人	1人	1人
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	100%	0%	0%	0%
	全体達成率	35%	60%	60%	60%	60%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆				

事業名	医師・保健医療技術者修学資金貸付事業	評価者 管理職 職氏名	総務課長	佐竹 邦夫
		評価者 作成者 職氏名	庶務係長	林 史祥

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	医師や保健医療技術者の資格取得を目指している者のうち、資格取得後に雄武町職員として勤務することを希望している者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	修学資金借受者数								
【抱える課題やニーズは】	大都市と比べ地方においては、医師や保健医療技術者の不足が大きな問題となっており、人材の確保を図るための施策を講じる必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	資格取得後に雄武町職員として医療現場で従事する意欲のある者に対して、経済的な理由により希望する職種への道が閉ざされないように、修学資金の一部を援助(貸付)し、不足する医療技術者の育成確保を図る。	①	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>200.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	1人	実績値	2人	達成度	200.0%
目標年度	平成26年度										
目標値	1人										
実績値	2人										
達成度	200.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	恒常的に不足している医師や保健医療技術者を計画的に採用することができ、雄武町の保健医療体制の充実が図られる。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成26年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	修学資金の貸付	看護師(2名)の資格取得を目指している者に対し、修学資金の貸付を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	近隣の自治体においては、看護師の不足により夜間診療が休止になるなど、小規模自治体においては医療技術者の慢性的な不足が大きな問題となっていることから、行政が責任をもって人材確保に努めていく必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	修学資金借受者については、資格取得後、雄武町職員として医療現場で従事することになっていることから、医療従事者の計画的な補充が可能となっている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	修学資金については、経済的な負担軽減という側面のほか、引く手あまたの医療従事者の就職先を決定する際の大きな判断材料にもなることから、修学に要する学費や生活費等を考慮した現在の月額8万円は妥当であると判断される。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	将来的に医療技術者として雄武町で働く意欲のある者であれば、他の条件を課さずに修学資金の一部を貸し付けているところであり、また資格を取得できなかった者及び雄武町職員にならなかった者については、貸付金を全額返還させることになっている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
保健医療技術者の不足を解消するための事業であり、希望者に対し就学資金の一部貸付を行ったことから、目的どおりに事業を進めることができた判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
保健医療技術者の確保については、一朝一夕で解決するものではなく、長いスパンで考えていかなければならないことから、本事業については継続することが必要であると判断する。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止